

The Tokyo Tanuki Times

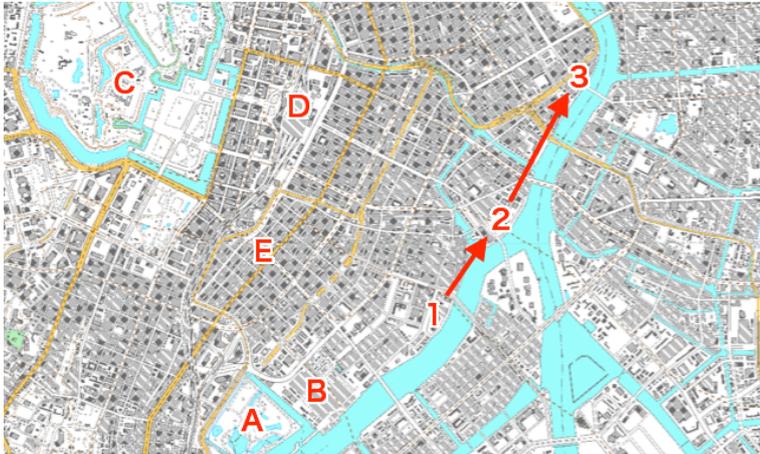
東京タヌキタイムズ

2010年7月号 通巻19号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2010

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

そのハクビシンはシャングリ・ラを目指す 同一個体が隅田川河岸を遡上中？



現場付近の地図。ハクビシンの目撃地点は1(聖路加タワー前)→2(新川)→3(清洲橋)と隅田川を遡上している。逆方向にたどると浜離宮庭園に到る。

地図は国土地理院発行「数値地図25000(地図画像)東京」(平成19年発行CD-ROM版)を使用した。

A=浜離宮庭園、B築地市場、C=皇居、D=JR東京駅、E=銀座。

東京タヌキ探検隊！では主にメールによってタヌキなどの目撃情報を収集しています。タヌキなどを目撃した人がネットで検索し、東京タヌキ探検隊！のホームページを発見し、メールで連絡してくる、というパターンがほとんどです。目撃者すべてがホームページを見つけて連絡してくるわけではないため、この調査方法は不完全だと思われることもあります。しかし、広域での分布傾向が明らかになるなどの成果を出してもきました。そして時には奇妙な情報をもたらすこともあります。今回はそんな話です。

中央区の異変

最初の異変は2010年1月でした。中央区明石町にある聖路加タワー近くの隅田川テラスでハクビシンが2日続けて目撃されました。これは私のデータベースでは中央区初の目撃記録になりました。隅田川テラスとは隅田川の両岸に整備された遊歩道のことです。次は少し間があいて5

月中旬、上流の新川の隅田川テラスで正体不明の動物が目撃されました。夜の目撃だったため判別が難しく、ひょっとしたらイタチかもしれない、という結論にその時はなりました。そして今度は6月上旬、さらに上流の清洲橋近くでハクビシンが目撃されました。これも隅田川テラスのすぐそばでした。

目撃地点をつなげてみると、どうも同一のハクビシンが隅田川西岸を上流に向かって移動しているようです。中央区はハクビシンが生息するには緑地が少なすぎるため、生息数はほとんどゼロに近いと思われます。3地点のハクビシンは別々の個体ではなく同じ個体ではないかと推測されるのです。

進行方向を逆にたどっていくと、このハクビシンの出発地点は浜離宮庭園ではないか、と考えられます。ここなら緑が多く、食べ物の調達も難しくないでしょう。実は、浜離宮庭園はハクビシンやアライグマが定住しているのではないかと疑いが以前からありました。

行き着く果ては

今回のように同一個体らしき動物が何度も目撃される例は非常にまれです(定住個体は別として)。しかし非効率と思われがちなメールによる情報収集も、時にはこのように鋭敏なセンサーになることもあるのです。

このハクビシンはこれからどこへ行くのでしょうか。いつの日か安住の地にたどり着くことができるのでしょうか。もし隅田川近辺でハクビシンを目撃したならば、ぜひ東京タヌキ探検隊！までお知らせください。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>